

生活者の目線で、2018年度決算をチェック!

◆ 決算特別委員会での審査を報告します ◆

市民からお預かりしている税金を使って、どんな事業がどんな目的で行われたのか、その成果や課題、執行体制をチェックし新年度予算へとつなげるのが、1年に1度の決算特別委員会です。生活者ネットは、「市民が主役のまちづくり」の実現に向け、市民の目線で2018年度の主要な事業をチェックしました。

2018年度決算の主なチェックポイント

後藤ゆう子

ここを評価しました!

自殺のサインを見逃さないまちへ

CHECK! 自殺のサインに気づき、適切な対応を図ることが出来る「ゲートキーパー」養成研修を、西東京市では新入職員が必須で受講していること、また若者への対策として、市内の大学でも研修を行っていることを評価しました。今後は、子ども食堂やケアラズカフェなどに携わる市民向けにも行うことを提案しました。

かとう涼子

質の高い「公民館だより」をすべての市民へ!

CHECK! 地域で活動する市民のインタビュー記事など、毎号、工夫を凝らした紙面づくりが好評な「公民館だより」。ところが、市の事務事業評価では「費用対効果の検証」と「抜本的見直し」が求められています。郷土史を発信し、市民防災など地域の課題も取り上げる社会教育の機関誌を高く評価し、全戸配布の継続を求めました。

改善を求めました!

地域福祉基金の活用で、子ども施策の充実を!

CHECK! 市民からの寄附金も積み立てられる地域福祉基金に、廃止された奨学金基金の残額が繰り入れられました。過去5年間の地域福祉基金の充当事業は、認知症及びねたきり高齢者紙おむつ給付事業や予防接種事業など、経常経費がほとんどです。政策的な事業や奨学金基金の趣旨を踏まえた事業、寄附をしたくなるような事業に充当するよう求めました。

公園遊具の修繕、更新にもっと予算を!

CHECK! 子どもたちが遊ぶ公園の遊具や、ベンチの破損が気になります。道路整備や庁舎整備に膨大な予算をかける一方で、老朽化に伴う遊具の更新は2018年度決算で、なんとゼロ。バランスの悪さが際立っています。壊れる前の早期対応と、子どもの意見を踏まえた遊具のリニューアルを求めました。

その他の質問 市民からのふるさと納税/寄附された不動産/0~3歳児の虐待対策/職員向け地球温暖化対策研修/生ごみ回収/防災会議の女性委員比率/避難所運営協議会のマニュアル/小学校農園—ほか

その他の質問 税金の滞納整理と困窮者支援/対話による美術鑑賞事業/地域福祉コーディネーターの増員/障がい者の移動支援事業/虐待防止と育児支援訪問事業/消費生活相談/住宅セーフティネット/中学校の人権教育/困り感のある児童生徒への継続的なサポート—ほか

ご意見、ご要望お待ちしております。 TEL 042-453-4121

発行責任者：後藤ゆう子（市議会会派：生活者ネットワーク代表）
〒202-0015 西東京市保谷町6-25-1-102（会派事務所）
TEL：042-453-4121 FAX：042-410-0014
発行日：2019年10月23日
後藤ゆう子HP <http://goto.seikatsusha.me/>
かとう涼子HP <http://kato.seikatsusha.me/>



生活者ネットワーク 3つのルール

選挙はカンパとボランティアで行います。

議員は最長3期でローテーション。
議員を職業化せず、誰もが議員になることで特権化しません。

議員報酬は市民の活動資金として使い、お金の流れは公開します。